

|  |  |                                       |                 |
|--|--|---------------------------------------|-----------------|
| <b>科目名：歯科矯正学</b><br>( Orthodontics )<br>履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義<br>主担当教員：池中僚亮（実務経験 歯科医師 10 年：実務経験から日本矯正歯科学会認定医を取得しており、培った経験と知識をもとに分かりやすく講義し、国家試験合格に結び付くように致します）<br>担当教員： |  | 必                                     | 1 単位<br>(45 時間) |
| 学修目的   | 現代歯科医療において不正咬合に対する歯科矯正治療の必要性は高まっている。歯科衛生士と歯科医師が基本的な知識を共有し協働的診療を進めるために、口腔・頭蓋・顎顔面の発生と成長発育、正常咬合・不正咬合、矯正診断の流れと診察・検査方法と、矯正力による生体反応、各種矯正装置の基本構造、適応症および作用機序、各種不正咬合の基本的治療法と必要な手技と器材を理解する。本講義は歯科矯正治療上、歯科衛生士に求められる知識、手技を把握し、さらに口腔衛生、食生活指導、口腔周囲筋の訓練（MFT）などの基礎力を学ぶ事を目的とする。本科目は CP(2・3・4)に関連する。<br>科目 No.S2C09H09 |                                       |                 |
| この科目が目的としている DP  | 1. 医療専門職としての倫理観を有する。   | (1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。         |                 |
|  |  | (2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。             |                 |
|  | 2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。  | (1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。 | ◎               |
|  |  | (2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。  | ○               |
|  |  | (3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。           |                 |
|  | 3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。  | (1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。  |                 |
| (2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。  |  |                                       |                 |
| (3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。  |  |                                       |                 |
| ◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP<br>○： この講義・演習・実習と関連がある DP   |  |                                       |                 |
| 到達目標   | 1. 矯正歯科治療の目的を理解する。<br>2. 正常咬合の概念、不正咬合の種類、分類法、原因、予防法および障害を理解する。<br>3. 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生と成長発育およびその異常を理解する。<br>4. 矯正歯科治療における診断の流れと診察・検査方法を理解する。<br>5. 矯正力によって生じる生体反応を理解する。<br>6. 種矯正装置の基本構造、適応症、作用機序を理解する。<br>7. 各種不正咬合の基本的治療法と必要な手技と器材を理解する。  |                                       |                 |
| 授業概要   | 頭部・顎・顔面部の成長発育とそれに伴って変化する歯列の変化を理解し、その発育を阻害する因子を早期に取り除くことが不正咬合の予防につながることを理解する。不正咬合によってう蝕、歯周疾患、発音障害、咀嚼障害、顎関節症、顎変形症などが誘発されることが判明しており、不正咬合治療は口腔領域だけでなく心身の健康にきわめて重要である。本講義では、歯科矯正学の概要を教授して、その診療補助能力を高めると同時に矯正装置の装着によって清掃しにくくなった口腔内の管理、口腔疾患の予防についても対応できる知識の習得を目的とする。  |                                       |                 |
| 評価方法   | 授業参加（10%）、筆記試験（90%）  |                                       |                 |

|              |   |
|--------------|---|
|              | 試験に対するフィードバックは掲示で行う。  |
| 予習・<br>復習時間  | 【予習】0.5 時間<br>【復習】0.5 時間  |
| 教科書          | 歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学第2 版   |
| 参考書          |   |
| オフィス-<br>連絡先 | 池中：火 9:00～17:00（第2 研究棟 3 階 矯正歯科研究室）<br>水～土 10:00～18:00（神奈川歯科大学附属横浜クリニック 1 階医局）<br>ikenaka@kdu.ac.jp 不在時はメールをお願いします。 |

| 実施回      | 授業計画   | 予習・復習・キーワード  | 担当        |
|----------|--|--|-----------|
| 1 (4/8)  | 歯科矯正学の概要<br>(1) 矯正歯科治療の目的を理解する<br>(2) 矯正歯科の目標と流れを理解する<br>(3) 矯正歯科の種類と開始時期を理解する<br>(4) 矯正歯科のベネフィットとリスクを理解する<br>(5) 矯正歯科とチーム医療を理解する<br>(6) 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割を理解する                     | 予習：教科書 p2～12 を読んでおく<br>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する<br>キーワード：歯科矯正治療の開始時期、不正咬合による機能的、心理的障害、学校歯科検診、リスクファクター、チーム医療   | 講義<br>○池中 |
| 2 (4/8)  | 成長発育<br>(1) 身体・頭蓋冠・頭蓋底・顔面頭蓋の成長発育を理解する<br>(2) 歯列の成長発育について理解する<br>(3) 口腔機能の発達について理解する  | 予習：教科書 p13～30 を読んでおく<br>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する<br>キーワード：二次性徴年齢、思春期性成長促進、スキャモンの臓器別発育曲線、骨膜性成長、縫合性成長、軟骨性成長、乳児型嚙下、成人型嚙下   | 講義<br>○池中 |
| 3 (4/15) | 正常咬合、不正咬合<br>(1) 正常咬合の概念を理解する<br>(2) 正常咬合の形態的特徴を理解する<br>(3) 不正咬合の形態的特徴を理解する<br>(4) Angle の不正咬合の分類を理解する   | 予習：教科書 p32～43 を読んでおく<br>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する<br>キーワード：理想咬合と正常咬合、隆線と溝の関係、咬合様式、下顎位、転位、傾斜、低位、高位、捻転、移転、叢生   | 講義<br>○池中 |
| 4 (4/22) | 不正咬合の原因、予防<br>(1) 不正咬合の先天的原因を理解する<br>(2) 不正咬合の後天的原因を理解する<br>(3) 不正咬合の予防を理解する   | 予習：教科書 p44～54 を読んでおく<br>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する<br>キーワード：ハプスブルグ家、骨格的下顎前突、舌突出癖、口呼吸、母指吸引癖、吸唇癖、咬爪癖、早期喪失   | 講義<br>○池中 |
| 5 (5/13) | 矯正歯科診断①<br>(1) 矯正診断に必要な検査を理解する<br>(2) 顔面写真による顔面形態の評価方法を理解する<br>(3) 矯正診断に用いる口腔模型を理解する<br>(4) 矯正診断に用いるエックス線検査を理解する<br>(5) 矯正診断に用いる機能的検査を理解する<br>(6) 口腔模型を用いた症例分析を理解する<br>(7) 成長分析を理解する | 予習：教科書 p55～64、p69～74 を読んでおく<br>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する<br>キーワード：インフォームドコンセント、直顔型、凸顔型、凹顔型、E-ライン、鼻柱口唇角、手骨根エックス線写真、下顎運動検査、平行模型・予測模型、アーチリングスディスクレパンシー、抜歯基準、顔面写真撮影、口腔内写 | 講義<br>○池中 |

|           |  |  |                      |
|-----------|--|--|----------------------|
|           |  | 真撮影、印象採得、口腔模型の製作・保管  |                      |
| 6 (5/20)  | <p>矯正歯科診断②</p> <p>(1) 頭部エックス線規格写真の撮影法を理解する</p> <p>(2) 頭部エックス線規格写真の計測点を理解する</p> <p>(3) 頭部エックス線規格写真基準平面を理解する</p> <p>(4) 頭部エックス線規格写真の角度的計測項目を理解する</p> <p>(5) 頭部エックス線規格写真の分析法を理解する</p> <p>(6) 頭部エックス線規格写真の角度的計測項目を理解する</p> <p>(7) 頭部エックス線規格写真の分析法を理解する</p> | <p>予習：教科書 p64～68 を読んでおく</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：撮影条件、トレース、計測点、基準平面、SNA 角、SNB 角、ANB 角、下顎下縁平面角、上下中切歯歯軸傾斜角</p>          | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 7 (5/27)  | <p>歯の移動と固定</p> <p>(1) 歯の異動に伴う組織変化を理解する</p> <p>(2) 最適な矯正力による歯の移動様相を理解する</p> <p>(3) 歯の移動様式を理解する</p> <p>(4) 矯正力の種類を理解する</p> <p>(5) 矯正力と移動歯、固定歯の関係を理解する</p>  | <p>予習：教科書 p76～86 を読んでおく</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：圧迫側、牽引側、破骨細胞、骨芽細胞、停滞期、差動矯正力、傾斜移動、圧下、提出、持続的、間歇的、断続的、機能的、アンカースクリュー</p> | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 8 (6/3)   | <p>矯正装置</p> <p>(1) 矯正装置の分類法を理解する</p> <p>(2) 矯正装置の種類と構成を理解する</p> <p>(3) 矯正装置の使用目的と適用時期を理解する</p> <p>(4) 矯正装置の分類法を理解する</p> <p>(5) 矯正装置の種類と構成を理解する</p> <p>(6) 矯正装置の使用目的と適用時期を理解する</p>  | <p>予習：教科書 p87～108 を読んでおく</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：固定式矯正装置、可撤式矯正装置、機能的矯正装置、拡大装置、顎外固定装置、口腔習癖除去装置、保定装置</p>               | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 9 (6/10)  | <p>矯正治療の実際①</p> <p>(1) 上下顎の前後的關係の不調和に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(2) 上下顎の垂直的關係の不調和に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(3) 症候群に対する矯正歯科治療を理解する</p>  | <p>予習：教科書 p109～127 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：Ⅰ級不正咬合、Ⅱ級 1 類不正咬合、Ⅱ級 2 類不正咬合、Ⅲ級不正咬合、過蓋咬合、開咬、交叉咬合、口唇裂・口蓋裂</p>        | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 10 (6/17) | <p>矯正治療の実際②</p> <p>(1) 成人矯正歯科治療を理解する</p> <p>(2) 顎変形症に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(3) 歯の埋伏と歯数の異常に対する矯正歯科治療を理解する</p> <p>(4) MTM（限局矯正）について理解する</p> <p>(5) 矯正歯科治療に伴うリスクとその対応を理解する</p>  | <p>予習：教科書 p128～140 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：外科矯正治療、施設基準、歯槽骨レベル、包括的矯正歯科治療、過剰歯、6 歯以上の先天的部分無歯症、MTM、偶発症、合併症</p>     | <p>講義</p> <p>○池中</p> |

|           |  |   |                      |
|-----------|--|---|----------------------|
| 11 (6/24) | <p>矯正治療に用いる器材と使用手順①</p> <p>(1) マルチブラケット装置を構成する器材を理解する</p> <p>(2) マルチブラケット装置の装着・調整・撤去に用いる器具を理解する</p>  | <p>予習：教科書 p142～160 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：ブラケット、チューブ、バンド、矯正用ワイヤー、ボンディング材、バンドセメント、エラスティック、ブライヤー</p> | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 12 (7/1)  | <p>矯正治療に用いる器材と使用手順②</p> <p>(1) 矯正装置の製作・調整に用いる器材を理解する</p> <p>(2) 検査・分析に用いる器具を理解する</p> <p>(3) マルチブラケット装置の装着・撤去の手順を理解する</p> <p>(4) 矯正治療における器材の再生処理を理解する</p> | <p>予習：教科書 p160～173 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：技工用ワイヤー、検査・分析器具、再生処理</p>                                 | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 13 (7/15) | <p>口腔筋機能療法 (MFT)</p> <p>(1) 口腔筋機能療法の訓練を理解する(ビデオ視聴)</p> <p>(2) 口腔周囲組織のアセスメントを理解する</p> <p>(3) 舌突出癖に対する口腔筋機能療法を理解する</p> <p>(4) 口腔筋機能療法の効果を理解する</p>          | <p>予習：教科書 p174～189 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：MFT、スポット、切歯乳頭、舌圧と口唇圧のバランス、正常嚥下と異常嚥下、発音</p>               | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 14 (7/22) | <p>矯正歯科患者と口腔保健管理</p> <p>(1) 小児患者・成人患者へのアプローチを理解する</p> <p>(2) 矯正治療におけるリスクファクターを理解する</p> <p>(3) ブラークコントロールに使う器具を理解する</p> <p>(4) ホームケア、プロフェッショナルケアを理解する</p> | <p>予習：教科書 p190～201 を読むこと</p> <p>復習：教科書、配布プリントを用いて復習する</p> <p>キーワード：QOL、既往歴、う蝕活動性試験、う蝕リスク判定、歯冠清掃、洗口、フッ素</p>                  | <p>講義</p> <p>○池中</p> |
| 15 (7/22) | <p>講義のまとめ</p>  | <p>教科書の範囲、全配布プリントを整理し、本試験に備える</p>   | <p>講義</p> <p>○池中</p> |